

普及活動情勢報告（平成 30 年 2 月分）

安芸農業振興センター

赤ピーマンの品質向上を目指して！ ～園芸研究会カラーピーマン部会現地検討会～



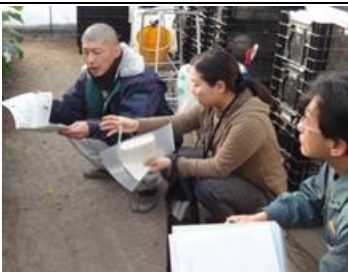
栽培管理について
熱心に話す生産者

1月19日、JA土佐あき園芸研究会カラーピーマン部会が安芸市、安田町の3ほ場で現地検討会を開催し、6人の生産者が参加しました。

農業改良普及課は、チャノキイロアザミウマやうどんこ病の病害虫対策、環境制御技術について指導しました。また、今年初めてのカラーピーマン部会ということもあり、生産者同士で積極的な意見交換が行われ、栽培全般の理解を深めることができました。

農業改良普及課は、今後も部会活動や個別巡回で病害虫対策や環境制御技術を指導し、収量・品質の向上を図ります。

環境制御技術を導入しませんか Part II ～JA 土佐あき北支所管内一斉巡回～



今なら補助事業が
利用できますよ！

1月24日と25日、農業改良普及課はJA土佐あき北支所、JA営農指導課、県産地・流通支援課と連携し、安芸市井ノ口地区や土居地区などの施設栽培農家52戸に対して個別巡回を行いました。昨年12月のJA東支所管内に続く今年度2回目の取り組みで環境制御技術とその普及事業について重点的に指導・周知を行いました。

農家からは、「炭酸ガス発生機はどの機種がよいか？」、「申請の締め切り日は？」などの問合せや、「事業があるうちに、色々な装置を揃えたい」、「先に入れた人から勧められて機器の導入を決めた」など多くの人が導入意思を示しており、関心の高さを感じました。

農業改良普及課は、今後もJAなどの関係機関とともに、環境制御機器要望者への円滑な導入に向けて支援します。

女性の栽培力向上に向けて ～安芸支部園芸部園芸研究会女性ナス生産者現地検討会～



うちんくのハウスとは
どう違うかねえ

1月29日、農業改良普及課は、安芸支部園芸部園芸研究会女性ナス生産者を対象に穴内地区の環境制御機器導入ほ場3カ所で現地検討会を行い、15人が出席しました。

参加者の中には環境制御機器を初めて見る人もおり、「炭酸ガスの局所施用の仕組みが分かった」といった声が聞かれたり、「うちんくのハウスよりも昼の温度が低いように感じる」と自身のハウスの管理温度と比較する生産者も見られるなど、活発な意見交換につながりました。

農業改良普及課は今後も関係機関と連携し、勉強会や現地検討会を開催し、女性生産者の栽培力のレベルアップを図っていきます。

状況に合わせた環境制御を学ぼう！ ～安芸ブロック青年農業士現地検討会・交流会～



いろんな品目を見るのも
面白い！

1月31日、安芸ブロック青年農業士が安芸地区で現地検討会・交流会を開催し、青年農業士17人が参加しました。

農業改良普及課は、現地検討会と交流会の開催準備や円滑な運営ができるよう支援しました。現地では、ナスとピーマンのハウス3ヶ所で環境制御に取り組むほ場主への質問や農業士同士の意見交換を行い、技術の向上を図る姿が見られました。また交流会では、今後の活動内容や来年度の新規会員候補などについて積極的な意見交換をし、親交を深めました。

農業改良普及課は、今後も事務局として、青年農業士の知識・技術向上の場づくりや地域振興に向けた活動を支援します。

「明日へ男女に手をたずさえてのつどい」開催 ～安芸・室戸地区農村女性リーダー～



作業服姿での寸劇の様子

1月31日、安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会主催の「第11回明日へ男女に手をたずさえてのつどい」が田野町ふれあいセンターで開催され、地区内外の農村女性や関係機関などの計132人が参加しました。

農業改良普及課は、開催準備や円滑な運営ができるよう支援しました。農村女性リーダーらは、「特産野菜料理の試食会」やミニ講演会の他、寸劇で快適な作業服の提案やアシストスーツの試用結果等の発表を行いました。作業服は参加者の関心が高く、休憩時間には展示された作業服を見学する人が多く見られました。

農業改良普及課は、今後も農村女性リーダーの自主的な活動を支援します。

炭酸ガスだけじゃないぞ！ ～東洋町園芸研究会視察研修～



病気の「^け気」もないね

1月31日、東洋町園芸研究会の部会員6人と研修生1人が細霧冷房システムと除湿装置を導入している室戸市吉良川町西山台地の2戸のナスほ場を視察しました。

生産者から機器の導入契機や効果、使い勝手などを説明してもらい、農業改良普及課室戸支所からは補足説明や質問に対する専門的な内容について回答説明をしました。東洋町ではまだ炭酸ガス施用機以外の環境制御機器は導入が進んでおらず、さらなる領域の議論が弾みました。特にナス黒枯病に悩まされている生産者は除湿機による防除効果に興味津々で、「ん～もっと安けりゃな」との声が漏れました。

農業改良普及課室戸支所では、新技術の紹介や他地域との交流を通じて、地域の収量アップにつながるよう、今後も活発な研究会活動を支援します。

直販市に出荷する野菜を栽培しませんか！ ～室戸市内庭先集荷生産者栽培講習会～



初めての栽培講習会で
次々と質問攻めにあいました

複合経営拠点「協同キラメッセ室戸」（以下キラメッセと略す）では、1月16日から庭先集荷がスタートしたのを受け、2月1日に、室戸市羽根町中川内地区で春まき野菜の栽培講習会を開催し、6人の生産者が参加しました。

キラメッセから庭先集荷の仕組みの説明があり、農業改良普及課室戸支所からは土作りなどのほ場準備、は種・育苗と定植時の注意点、農薬安全使用について指導しました。

参加者からは、「農薬の使用は今まで以上に気をつけないといけない」、「これから野菜を沢山栽培したい」など意欲的な意見がありました。

農業改良普及課室戸支所は、今後も講習会の開催地区を増やし、中山間地域の活性化と庭先集荷の拡大を図ります。

病害と虫害を克服しよう！ ～園芸部赤野支部ナス研究会現地検討会&勉強会～



黒枯病対策実施ほ場で
対策を学ぶ生産者

2月2日、園芸部赤野支部ナス研究会が現地検討会・勉強会を開催し、19人の生産者が参加しました。

農業改良普及課は、現地検討会では黒枯病対策として予防散布と罹病葉の持ち出しを実施しているほ場で対策の効果を確認してもらい、勉強会では春以降の病害・虫害対策について指導しました。

生産者からは「罹病葉の持ち出しは大変やけどせないかんね」、「うちにもアザミウマがおったき防除したで」といった声があがりました。

農業改良普及課は今後も部会活動や個別巡回を通じて収量の増加に向けた栽培管理を指導します。

いいお米づくりは基本管理の徹底から！～なはりの郷・百石ファームの研修会～



まずは基本から積み上げんといかん！

2月5日、農業改良普及課は、土佐岩戸米営農組合への視察研修会を開催し、水稻の高品質化の取り組みに関心がある奈半利町の（一社）なはりの郷、百石ファーム、奈半利町役場の計6人が参加しました。

土佐岩戸米営農組合からは、「各農家の食味値の発表会をやり、地域の意識を高めた」、「まずは基本からコツコツ取り組むことが大事」等の話がありました。

参加者からは、「目指すべき目標を設定することが大事と思った」、「まずは基本管理を徹底するようにしたい」等の意見が出され、有意義な視察研修会となりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し研修会や個別巡回指導を通して中山間農業複合経営拠点や集落営農組織の経営発展を図ります。

雨ニモ負ケズ！！ ～柚子部吉良川支部せん定講習会～



この木だったらどうする？

2月19日の冷たい雨の中、JA土佐あき柚子部吉良川支部が室戸市羽根地区と野根地区でせん定講習会を開催し、18人が参加しました。

農業改良普及課室戸支所は、去年のユズの着果が平年を下回っていたため、今年は、1本1本の樹の性質・状態を見極め、弱めのせん定をするよう指導しました。

日頃からせん定を行っている参加者も熱心に耳を傾け、生産者同士でも情報交換を行う姿がありました。

今後、農業改良普及課室戸支所では、ふかし枝による花芽の調査を行い、ユズの安定生産に向けた講習会や栽培指導を行います。